

[illegible]

科目 現代文演習BA

单位数： 2 单位

対象学年組：第 2 学年 組～ 組

使用教科書：（ ）

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深め、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代文演習BA の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
検証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書 読					
1 学期	1.単元 基礎編 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習（基本的な漢字、慣用表現、表現、語彙、日本文学史、現代用語） ・文章読解 大石善隆「コケはなぜ美しい」 福岡伸一「多様性は人間だけのものか」 ・教材 正しく読み・解くための力をつける現代文 ステップ2	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができているか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 !台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	5
	2.単元 基礎編 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習（基本的な漢字、慣用表現、表現、語彙、日本文学史、カタカナ語、国語常識） ・文章読解 船木孝「現代思想論議」 南野忠晴「社会の中で生きている」 ・教材 正しく読み・解くための力をつける現代文 ステップ2	○	○	○		○	○	○	8
	定期考査									
	3.単元 基礎編 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。	・指導事項 演習（身につけておきたい漢字、慣用表現、表現、語彙、文章題、現代用語） ・文章読解 井上智洋「人工知能と経済の未来」 関高純「裸の王様」 ・教材 正しく読み・解くための力をつける現代文 ステップ2	○	○	○		○	○		8
	定期考査						○	○		1
2 学期	4.単元 標準編 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習（身につけておきたい漢字、慣用表現、表現、語彙、文章題、カタカナ語、国語常識） ・文章読解 鷲田浩一「哲学の使い方」 稲葉一郎「これからのロボット倫理」 ・教材 正しく読み・解くための力をつける現代文 ステップ2	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができているか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 !台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	8
	5.単元 標準編 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。	・指導事項 演習（覚えておきたい漢字、慣用表現、表現、語彙、文章題、口語文法、敬語、カタカナ語、国語常識） ・文章読解 三浦しおん「政と派」 佐方智「三十一文字のパレット」 ・教材 正しく読み・解くための力をつける現代文 ステップ2	○	○	○		○	○	○	10
	6.単元 標準編 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習（覚えておきたい漢字、慣用表現、表現、語彙、文章題、口語文法、敬語、カタカナ語、国語常識） ・文章読解 田口茂「飲食学という思考」 森本智郎「見わたせば…」 ・教材 正しく読み・解くための力をつける現代文 ステップ2	○	○	○		○	○	○	8
	7.単元 標準編 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。	・指導事項 演習（S・P・I、公務員試験 （三語の関係、複数の意味、語句の意味、四字熟語、整序問題、類義語、反対語、ことわざ、長文問題、文学史、漢字） ・文章読解 中村桂子「生命科学」 小林健夫「身体と空間」 ・教材 正しく読み・解くための力をつける現代文 ステップ2	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができているか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 !台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	15
	8.単元 標準編 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。	・指導事項 演習（S・P・I、公務員試験 （二語の関係、複数の意味、語句の意味、四字熟語、整序問題、類義語、反対語、ことわざ、長文問題、文学史、漢字） ・文章読解 中村桂子「生命科学」 小林健夫「身体と空間」 ・教材 正しく読み・解くための力をつける現代文 ステップ2	○	○	○		○	○	○	7
3 学期			○	○	○		○	○	○	合計 70

使用教科書：（ ）

教科 の目標：

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深め、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代文演習AD	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
検証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
	【学びに向かう力、人間性等】
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
			話・聞	書	読						
1 学 期	A 単元 基礎編 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	評論の言葉・内容・理由・指示内容を押さえる、主題を捉える。言語・文化に関する評論文と随想。 語彙を増やす。ことわざ・慣用句。	○		○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができているか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1)台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。			○	○	5
		評論の言葉・内容・理由・指示内容を押さえる、主題を捉える。人間関係・科学的な内容に関する評論文と随想・小説。 語彙を増やす。ことわざ・慣用句。			○	○		○	○	8	
	定期考査				○			○	○	1	
	C 単元 基礎編 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。	評論の言葉・内容・理由・指示内容を押さえる、主題を捉える。日本文化・科学と芸術に関する評論文と随想・小説。 語彙を増やす。ことわざ・慣用句。			○	○		○	○	8	
		評論の言葉・内容・理由・指示内容を押さえる、主題を捉える。身体に関する評論文と随想・小説。 語彙を増やす。ことわざ・慣用句。			○	○		○	○	10	
定期考査					○			○	○	1	
2 学 期	D 単元 標準編 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	評論の言葉・内容・理由・指示内容を押さえる、主題を捉える。言語・文化に関する評論文と随想。 語彙を増やす。ことわざ・慣用句。			○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができているか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1)台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。		1			15
	E 単元 標準編 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。	評論の言葉・内容・理由・指示内容を押さえる、主題を捉える。人間関係・科学的な内容に関する評論文と随想・小説。 語彙を増やす。ことわざ・慣用句。			○					11	
3 学 期	G 単元 標準編 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。	評論の言葉・内容・理由・指示内容を押さえる、主題を捉える。日本文化・科学と芸術に関する評論文と随想・小説。 語彙を増やす。ことわざ・慣用句。			○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができているか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1)台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。					11
					○						
					○						合計 70

高等学校 令和6年度（2学年用）教科

地歴公民

科目 日本史探究

教科：地歴公民

科目：日本史探究

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：

使用教科書：（『日本史探究 詳説日本史』山川出版社）

教科 地歴公民 の目標：

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 日本文化のあけはら 【知識及び技能】 人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 大塚からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて、弥生文化の形成を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 原始社会の特色についての考察を踏まえ、時代を通観する問いを表現する。	文化の始まり 農耕社会の成立	【知識・技能】 日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 【思考・判断・表現】 黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本列島における農耕社会の特色とともに、国家の形成につながるような社会構造の変化について考察することを通じて、弥生文化の特色を明らかにしようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	第2章 古墳とヤマト政権 【知識及び技能】 古墳時代後期から終末期の変容と、ヤマト政権の政治制度を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。	古墳文化の展観 飛鳥の朝廷	【知識・技能】 国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。 【思考・判断・表現】 国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第3章 律令国家の形成 【知識及び技能】 律令にもとづく国内統治体制について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 律令国家が成立するまでの政治過程について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。	律令国家への道 平城京の時代	【知識・技能】 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。 【思考・判断・表現】 天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 平城京の造営と奈良時代の政治の動向に着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	第3章 律令国家の形成 【知識及び技能】 天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 律令国家の成立期に当たる白鳳文化の形成過程について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。	律令国家の文化 律令国家の変容	【知識・技能】 隋・唐など中国王朝との関係と文化への影響などに着目して、律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色を理解している。 【思考・判断・表現】 盛唐文化の変容を踏まえ、国史などの編纂や仏教美術の展開、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	第4章 貴族政治の展開 【知識及び技能】 藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 摂関政治の在り方と文化の展開に、どのような関係があるかを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 律令制にもとづく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。	摂関政治 国風文化 地方政治の展開と武士	【知識・技能】 藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 【思考・判断・表現】 国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文字の成立による国文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国司の在り方や徴税方式の変化、武士の出現など、地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和6年度（2学年用）教科

地歴公民

科目 日本史演習Ⅰ

教科：地歴公民

科目：日本史演習Ⅰ

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 組～ 組

教科担当者：

使用教科書：（『日本史探究 詳説日本史』山川出版社）

教科 地歴公民

の目標：

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史演習Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第8章 近世の幕開け 【知識及び技能】 織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 中世から近世への変化について考察し、時代を巡観する問いを表現する。	織豊政権 桃山文化	【知識・技能】 村藩や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 【思考・判断・表現】 織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 桃山文化の特色について、中世文化の特色との比較を通じて、その類似と差異を見出そうとしている。	○	○	○	5
	定期考查			○	○		1
	第9章 幕藩体制の成立と展開 【知識及び技能】 江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではないことを理解し、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 幕藩体制の仕組みと課題を理解する。	幕藩体制の成立	【知識・技能】 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解している。 【思考・判断・表現】 織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府による貿易統制の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 幕藩体制が確立する過程における様々な画期について考察し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考查			○	○		1
2 学 期	第9章 幕藩体制の成立と展開 【知識及び技能】 武士身分の特質や、周縁部分に生きる人々の社会的役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幕藩体制の確立期の経済・社会を、兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 幕藩体制期での人々の生活を考察する。	幕藩社会の構造	【知識・技能】 幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解している。 【思考・判断・表現】 新たな支配制度のもとにおける人々の生活の具体相について、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 織豊政権下における社会の仕組みと幕藩体制下とを比較・考察し、そのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	18
	定期考查			○	○		1
	第9章 幕藩体制の成立と展開 【知識及び技能】 諸藩における政治の安定化や刷新について、その特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 経済の発展と関連して町人文化が形成されたことについて、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。	幕政の安定 経済の発展 元禄文化	【知識・技能】 諸資料から情報を適切に読み取り、文治政治への転換から元禄時代・正徳期に至る政治の推移について理解している。 【思考・判断・表現】 陸・水における交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達との関連を多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 幕藩体制が安定していく中で経済の動向と上方の豪商との関係性を踏まえ、17世紀の文化の特色を明らかにしようとしている。	○	○	○	18
	定期考查			○	○		1
3 学 期	第10章 幕藩体制の動揺 【知識及び技能】 幕府や藩の支配に対しておこなわれた百姓一揆や、都市の打ちこわしの実態について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 江戸中期に成立した洋学や国学、新たな文化で展開する文学・芸術・美術について、社会の変容にともなう幕藩体制の動揺と関連づけて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 近代化の基盤の形成について、産業経済面や軍水面などに着目して、幕藩の浮上という地方からの視点から考察する。	幕政の改革 宝暦・天明期の文化 幕府の衰退と近代への道 化政文化	【知識・技能】 幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに関する諸資料から情報を読み取り、享保の改革や天明時代の諸政策の意義について理解している。 【思考・判断・表現】 幕藩体制の動揺と文化の展開との関連性について、諸資料から読み取れる情報をもとに多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考查						1
							合計
							70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 地理演習Ⅰ

教 科： 地理歴史 科 目： 地理演習Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 組～ 組

教科担当者：

使用教科書：（ 高等学校新地理総合 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】地理や歴史に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける

【思考力、判断力、表現力等】地理的歴史的な課題の解決に向けて構想・考察・説明・議論する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にその課題を主体的に追求・解決しようとする態度を養う

科目 地理演習Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける	地理的な課題の解決に向けて構想・考察・説明・議論する力を養う	よりよい社会の実現を視野にその課題を主体的に追求・解決しようとする態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	地図でとらえる現代世界 【知識及び技能】地図や国家の領域等について理解する 【思考力、判断力、表現力等】時差や領土問題について考える 【学びに向かう力、人間性等】地図を積極的に活用する	身の回りの地図 統計地図の種類と利用 GISの活用 国家と領域 国家間の結びつき	【知識・技能】さまざまな地図や国家の領域等について理解した 【思考・判断・表現】さまざまな地図やその活用について考えを深めた 【主体的に学習に取り組む態度】さまざまな地図を使いこなせるようになった	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	地図でとらえる現代世界 【知識及び技能】地図や国家の領域等について理解する 【思考力、判断力、表現力等】時差や領土問題について考える 【学びに向かう力、人間性等】地図を積極的に活用する	身の回りの地図 統計地図の種類と利用 GISの活用 国家と領域 国家間の結びつき	【知識・技能】さまざまな地図や国家の領域等について理解した 【思考・判断・表現】さまざまな地図やその活用について考えを深めた 【主体的に学習に取り組む態度】さまざまな地図を使いこなせるようになった	○	○	○	10
	国際理解と国際協力 【知識及び技能】世界の人々の生活文化の多様性について理解した 【思考力、判断力、表現力等】世界の人々の生活文化について多面的多角的に考察し表現している 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求・解決しようとしている	自然環境と人々の生活 宗教と人々の生活 歴史と人々の生活	【知識・技能】自然や歴史が人々の生活に与える影響について理解した 【思考・判断・表現】自然や歴史が人々の生活に与える影響について考えを深めた 【主体的に学習に取り組む態度】さまざまな人々の生活について自らその背景を追求しようとした	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学 期	国際理解と国際協力 【知識及び技能】世界の人々の生活文化の多様性について理解した 【思考力、判断力、表現力等】世界の人々の生活文化について多面的多角的に考察し表現している 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求・解決しようとしている	自然環境と人々の生活 宗教と人々の生活 歴史と人々の生活	【知識・技能】自然や歴史が人々の生活に与える影響について理解した 【思考・判断・表現】自然や歴史が人々の生活に与える影響について考えを深めた 【主体的に学習に取り組む態度】さまざまな人々の生活について自らその背景を追求しようとした	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	国際理解と国際協力 【知識及び技能】世界の人々の生活文化の多様性について理解した 【思考力、判断力、表現力等】世界の人々の生活文化について多面的多角的に考察し表現している 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求・解決しようとしている	自然環境と人々の生活 産業と人々の生活	【知識・技能】産業が人々の生活に与える影響について理解した 【思考・判断・表現】産業が人々の生活に与える影響について考えを深めた 【主体的に学習に取り組む態度】さまざまな人々の生活について自らその背景を追求しようとした	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	地球的課題と国際協力 【知識及び技能】世界のさまざまな課題について理解する 【思考力、判断力、表現力等】課題に対する取り組みを考える 【学びに向かう力、人間性等】さまざまな課題を理解し、解決していこうとする力を養う	地球環境問題 エネルギー問題 食糧問題 資源・他	【知識・技能】世界のさまざまな課題について理解した 【思考・判断・表現】世界の抱える課題に対する取り組みを考えた 【主体的に学習に取り組む態度】さまざまな課題を解決するためにより深く理解しようとする努力をした	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地理歴史科 科目 世界史演習Ⅰ

教科： 地理歴史科 科目： 世界史演習Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 （選択科目）

教科担当者：

使用教科書： （『世界史探究 詳説世界史』山川出版社）

教科 地理歴史科 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史演習Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・ヨーロッパの人々が遠征に乗り出していった動機や背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ヨーロッパの人々の進出がアジアにもたらした影響や変化を理解する。 ・中南米の先住民が短期間でスペイン人に征服された要因を理解する。	第9章 大交易・大交流の時代 2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	【知識・技能】 ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。 【思考・判断・表現】 ヨーロッパ人による航海と探検を示す地図や資料などをともに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	1
	・ルネサンスの担い手や彼らの動機について理解する。 ・ルネサンスを支えた精神の特徴を理解し、それが後世に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・多方面におよぶルネサンスの成果が後世に与えた影響を理解する。 ・それまでの教会改革の試みと16世紀の宗教改革の違いを多面的・多角的に考察し表現する。 ・カルヴァンの教えの特徴やイギリス国教会の成立の意義を理解する。 ・カトリック改革が持つ世界的な意義を多面的・多角的に考察し表現する。 ・主権国家体制の成立の経緯を多面的・多角的に考察し表現する。 ・16世紀後半のスペイン・イギリス・フランスの関係を理解する。 ・アウクスブルクの和議とウェストファリア条約の異なる点を理解する。 ・17世紀におけるオランダの経済的な覇権獲得および衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ・17世紀における2つのイギリスの革命について、国際的な状況もふまえて理解する。 ・近世フランスの強みと課題を多面的・多角的に考察し表現する。 ・イギリスとフランスの覇権争いがグローバルな戦いになった背景を理解する。 ・主権国家体制においてポーランドとスウェーデンが占めた位置を理解する。 ・ロシアが主権国家体制に参入していった経緯を理解する。 ・プロイセンとオーストリアの関係の推移を多面的・多角的に考察し表現する。	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 1 ルネサンス 2 宗教改革 3 主権国家体制の成立 4 オランダ・イギリス・フランスの台頭	【知識・技能】 ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響を理解している。 【思考・判断・表現】 美術作品の図像などの資料をもとに、ルネサンスの新しいさと古さを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ルネサンスについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 【知識・技能】 新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布を理解している。 【思考・判断・表現】 「九十五カ条の論議」などの資料をもとに、宗教改革の動きが広まった要因を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 宗教改革について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 【知識・技能】 主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較したうえで理解している。 【思考・判断・表現】 ウェストファリア条約の内容や当時の戦争の様子を示す図像資料をもとに、主権国家体制の成立と戦争の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主権国家体制の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 【知識・技能】 オランダ・イギリス・フランスがそれぞれ持った有利な点や課題を理解している。 【思考・判断・表現】 覇権争いの経過や「権利の章典」などの資料をもとに、イギリスが覇権を握るに至った要因を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 オランダ・イギリス・フランスの覇権争いについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 【知識・技能】 北欧・東欧の各国の関係の推移や、それぞれにおける改革の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 ロシア・プロイセン・オーストリアの状況を比較したうえで、啓蒙専制主義による改革が各国におよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 北欧・東欧の動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	・海外貿易が近世ヨーロッパ経済の動向に与えた影響を理解する。 ・イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・16世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係について理解する。 ・北米大陸に建設されたヨーロッパ諸国の植民地の地理的分布とその推移を理解する。 ・独立直後と今日のアメリカ合衆国を比較し、共通点と相違点を理解する。 ・アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解する。 ・人権宣言とアメリカ独立宣言を比較し、共通点と相違点を理解する。 ・ナポレオンの支配に対する人々の反応を多面的・多角的に考察し表現する。	第12章 産業革命と環大西洋革命 1 産業革命 2 アメリカ合衆国の独立と発展 3 フランス革命とナポレオンの支配	【知識・技能】 産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。 【思考・判断・表現】 当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イギリス産業革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 【知識・技能】 アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのかを理解している。 【思考・判断・表現】 アメリカ独立宣言や「権利の章典」などの資料をもとに、アメリカ合衆国独立の独自性を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 アメリカ合衆国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 【知識・技能】 フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。 【思考・判断・表現】 「旧体制」の風刺画などの図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10

	・ウィーン会議の参加者たちがどのような国際秩序をめざしていたかを理解する。 ・ウィーン体制を動揺させた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ・19世紀イギリスの政治変革の特徴について、大陸諸国と比較したうえで理解する。 ・イギリス・フランス・ドイツにおける社会主義思想をそれぞれ比較したうえで理解する。 ・1848年革命の展開と影響について、ヨーロッパ内の地域差に着目して多面的・多角的に考察し表現する。 ・クリミア戦争におけるロシア・イギリス・フランスのそれぞれの思惑を理解する。 ・19世紀後半におけるロシア・イギリス・フランスの諸改革の相違点を理解する。 ・ドイツとイタリアの国民国家成立を比較し、共通点と相違点を理解する。 ・ドイツ帝国におけるビスマルクの諸政策の動機を多面的・多角的に考察し表現している。 ・北欧諸国の安定性について、周辺諸国と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。 ・19世紀後半にさまざまな国際運動が進展した背景を理解する。 ・領土拡大がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・南北戦争において北部が勝利した要因を理解する。 ・アメリカ合衆国の歴史において移民が持つ意味を多面的・多角的に考察し表現する。	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 1 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 3 アメリカ合衆国の発展	【知識・技能】19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。 【思考・判断・表現】ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをともに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】ウィーン体制について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 【知識・技能】19世紀後半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、時代的な背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。 【思考・判断・表現】鉄道距離の推移を示す統計やイタリアとドイツの統一を示す地図などをともに、19世紀後半にヨーロッパの再編成が進んだ背景を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】19世紀後半のヨーロッパの再編成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 【知識・技能】南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。 【思考・判断・表現】アメリカ合衆国の領土拡大を示す地図や大陸横断鉄道開通の写真などの図像資料をともに、アメリカ合衆国の急速な発展の要因を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】アメリカ合衆国の発展について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	・オスマン帝国の動揺の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ・オスマン帝国の列強への経済的な従属化の経緯を理解する。 ・オスマン帝国の改革の成果と課題を理解する。 ・ロシアとイギリスの競合関係が西アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ヨーロッパ各国の東インド会社が南アジアでおこなった活動の状況を理解する。 ・イギリス東インド会社の機能の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ・東インド会社の統治と比較したうえで、イギリスによるインドの直接統治の特徴を理解する。 ・東南アジアの植民地化の経緯を理解する。 ・タイが植民地化されなかった要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ・清の危機の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ・中国の開港の背景および開港の進展の経緯を理解する。 ・清による国内秩序の再建の試みについて、その成果と課題を理解する。 ・東アジア各地の開港および貿易の拡大がもたらした影響を理解する。 ・欧米諸国の進出と日本の台頭が東アジア諸国間の関係に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	第14章 アジア諸地域の動揺 1 西アジア地域の変容 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動	【知識・技能】オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。 【思考・判断・表現】オスマン帝国憲法などの資料をともに、この時期のアジア各地での変化や改革について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】西アジアの変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 【知識・技能】ヨーロッパ各国による南アジアと東南アジアの植民地化の経緯を理解している。 【思考・判断・表現】東南アジアの植民地化の地図やゴムのプランテーションを示した図像資料などをともに、ヨーロッパ各国の進出の経緯をふまえ、南アジアと東南アジアにおける植民地化と世界経済の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】南アジア・東南アジアの植民地化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 【知識・技能】欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解している。 【思考・判断・表現】アヘン戦争を描いた図像資料、東アジアの開港場を示した地図などをともに、この時期の東アジア国際秩序の変容について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】東アジアの激動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
2学期	・新しく生まれた電気・化学製品が人々の日常生活に与えた影響を理解する。 ・帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ・各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解する。 ・この時期に国際労働運動が再燃した背景とその特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 ・列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容を多面的・多角的に考察し表現する。 ・列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解する。 ・独立後のブラジル・アルゼンチン・メキシコがたどった道を比較し、共通点と相違点を理解する。 ・20世紀初頭における列強体制の枠組みの変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ・日清戦争と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・改革をおこなったにもかかわらず清朝が倒れた原因を理解する。 ・インドにおける民族運動の社会的背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ・東南アジア各地の民族運動に共通する傾向を理解する。 ・西アジア各地における民族運動の共通点を理解する。	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 1 第2次産業革命と帝国主義 2 列強の世界分割と列強体制の二分化 3 アジア諸国の変革と民族運動	【知識・技能】第2次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。 【思考・判断・表現】国際情勢を風刺した図像資料などをともに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】第2次産業革命と帝国主義について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 【知識・技能】列強による世界分割がどのように進められたのかや列強体制の変化について理解している。 【思考・判断・表現】列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をともに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】列強の世界分割について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 【知識・技能】アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。 【思考・判断・表現】アジア各地の情勢などの資料をともに、アジア各地の変革や民族運動の背景を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】アジア諸国の変革と民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	・バルカン半島で緊張が高まった背景を理解する。 ・歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因を多面的・多角的に考察し表現する。 ・戦時外交および総力戦の特徴を理解する。 ・第一次世界大戦がもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ロシア革命の経緯を理解し、その歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。 ・第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯を理解する。 ・西欧諸国における第一次世界大戦後の展開を多面的・多角的に考察し表現する。 ・国際協調をめぐる1920年代の前半と後半の変化を理解する。 ・イタリアにおけるファシズム体制成立の背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ・東欧・バルカン半島の新興国が直面した困難と、それに対応すべく築かれた体制を理解する。 ・1920年代のソ連とアメリカのそれぞれの国内情勢を理解する。	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	【知識・技能】第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。 【思考・判断・表現】塹壕戦やさまざまな新兵兵、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料などをともに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】第一次世界大戦とロシア革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 【知識・技能】第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容やその特徴、その後の国際関係の変化について理解している。 【思考・判断・表現】各国の国内情勢を写した図像資料などをともに、1920年代の欧米各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

3 学 期	・第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・日本の勢力拡大に対する中国・朝鮮の人々の対応を多面的・多角的に考察し表現する。 ・南京国民政府による中国統一達成までの経緯を理解する。 ・第一次世界大戦後のインド・東南アジア・アフリカにおける民族運動の経緯を理解する。 ・第一次世界大戦による西アジアの政治地図の変化を理解する。 ・世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ニューディール政策およびブロック経済の特徴や世界経済への影響を理解する。 ・ナチスドイツの体制が成立する経緯とその政策内容を理解する。 ・ソ連の計画経済が資本主義諸国に与えた影響を理解する。 ・日本と中国が全面戦争へいたった背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ファシズム諸国の攻勢が国際政治に与えた影響を理解する。 ・開戦直前における各国のナチス＝ドイツへの対応を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ヨーロッパにおける第二次世界大戦の展開を理解する。 ・独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・第二次世界大戦の終戦までの経緯を理解する。 ・第一次世界大戦と比較したうえで、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。	3 アジア・アフリカ地域の民族運動 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2 第二次世界大戦	【知識・技能】第一次世界大戦がアジア・アフリカの各地に与えた影響を理解する。 【思考・判断・表現】民族運動の様子を写した図像資料などをもとに、アジア・アフリカ各地の民族運動の特徴や共通性を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】アジア・アフリカ地域の民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 【知識・技能】世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解する。 【思考・判断・表現】政治的なポスターなどの図像資料や経済的な変化を示す統計資料をもとに世界恐慌下の各国における変容を、またナチ党の全国党大会の図像資料などをもとにファシズム諸国の動きについて、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】世界恐慌やヴェルサイユ体制の崩壊について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 【知識・技能】第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。 【思考・判断・表現】戦場を写した図像資料などをもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】第二次世界大戦について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和6年度（2学年用）教科
地歴公民
科目 公共
 教科：地歴公民
 科目：公共
 単位数：
 単位
 対象学年組：第 2 学年
 1 組～
 6 組

教科 地歴公民 の目標：

【学びに向かう力、人間性等】 現代の社会と人間に関わる事柄に対する関心を深め、意欲的に課題を追及するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけさせ、人間としての在り方生き方についての自覚を深めさせる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめさせる。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論させる。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決する態度を育ませる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	公共の空間を作る私たちについて理解させ、話し合いを行い、考えさせる。	・おとなになるとはどういうことだろうか ・個人の尊厳と自主自律 ・多様性と共通性 ・伝統文化とのかかわり	【知識・技能】 ・青年期について理解している。 【思考・判断・表現】 ・青年期について考え、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークやワークシートに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	公共的な空間における基本原理について、民主政治と政治体制を通して理解し、考えさせる。	・個人の尊厳と平等・個人の尊重 ・民主主義と法の支配 ・自由・権利と責任・義務 ・日本国憲法に生きた基本原理	【知識・技能】 ・民主政治について理解している。 【思考・判断・表現】 ・民主政治について考え、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークやワークシートに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学期	法や規範の意義や契約、司法の意義について理解し、考えさせる。	・法や規範の意義と役割 ・契約と消費者の権利・責任 ・司法参加の意義	【知識・技能】 ・法と司法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・法と司法について考え、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークやワークシートに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	政治参加について考え自分の意見を持たせる。雇用や労働問題について理解させる。自分の職業観について考えさせる。	・政治参加と公正な世論形成 ・雇用と労働問題 ・社会の変化と職業観	【知識・技能】 ・政治参加・雇用と労働問題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・政治参加・雇用と労働問題について考え、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークやワークシートに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3 学期	経済の仕組みについて理解させ、現代社会の経済的課題について考えさせる。	・市場経済の機能と限界 ・金融のはたらき ・財政の役割と社会保障	【知識・技能】 ・市場の仕組みと財政について理解している。 【思考・判断・表現】 ・市場の仕組みと財政について考え、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークやワークシートに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和6年度（2学年用）教科

数学

科目 数学Ⅱ（文系）

教科：数学 科目：数学Ⅱ（文系）

単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

使用教科書：（最新 数学Ⅱ（数研出版））

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈し

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察す

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする

科目 数学Ⅱ（文系） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る	事象を数学的に考察し表現する能力を養う	数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	式と計算 【知識及び技能】 三次の乗法公式及び因数分解の公式を近いし、それらを用いて式の展開や因数分解をする。 【思考力、判断力、表現力等】 次の計算の方法をすでに学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用すること。	・指導事項 第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明 ・教材 最新数学Ⅱ パラレルノート数学Ⅱ	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	指数関数と対数関数 【知識及び技能】 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 指数と対数を相互に関連付けて考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を推察したりすること。	・指導事項 第5章 指数関数と対数関数 ・教材 最新数学Ⅱ パラレルノート数学Ⅱ	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	20
2 学期	定期考査			○	○		1
	複素数と方程式 【知識及び技能】 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則演算をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 次の計算の方法をすでに学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用すること。	・指導事項 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 等式・不等式の証明 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 ・教材 最新数学Ⅱ パラレルノート数学Ⅱ	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3 学期	図形と方程式 【知識及び技能】 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置やに転換の距離を表すこと。 【思考力、判断力、表現力等】 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	・指導事項 第3章 図形と方程式 第2節 円 第3節 軌跡と領域 ・教材 最新数学Ⅱ パラレルノート数学Ⅱ	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	微分法と積分法 【知識及び技能】 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 関数とその導関数との関係について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。	・指導事項 第6章 微分法と積分法 第1節 微分法 第2節 積分法 ・教材 最新数学Ⅱ パラレルノート数学Ⅱ	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	20
3 学期	定期考査			○	○		1
							合計
							105

使用教科書：（ 新編 数学Ⅱ（数研出版） ）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ（理系） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。	事象を数学的に考察し表現する能力を養う。	数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	式と証明 【知識及び技能】 三次の乗法公式及び因数分解の公式を逆用し、それらを用いて式の展開や因数分解をする。 【思考力、判断力、表現力等】 次の計算の方法をすでに学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用すること。	・指導事項 第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明 ・教材 新編数学Ⅱ STRIAL 数学Ⅱ+B	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	34
	定期考査			○	○		1
	図形と方程式 【知識及び技能】 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置やに転換の距離を表すこと。 【思考力、判断力、表現力等】 直線平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	・指導事項 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 ・教材 新編数学Ⅱ STRIAL 数学Ⅱ+B	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	34
	定期考査			○	○		1
2 学 期	図形と方程式 【知識及び技能】 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置やに転換の距離を表すこと。 【思考力、判断力、表現力等】 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	・指導事項 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 ・教材 新編数学Ⅱ STRIAL 数学Ⅱ+B	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	34
	定期考査			○	○		1
	三角関数 【知識及び技能】 座標を用いて、一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 三角関数に関する様々な性質について考察するとともに、三角関数の加法定理から新たな性質を導くこと。 【学びに向かう力、人間性等】 二つの数量の関係に着目し、日常の社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりする。	・指導事項 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第3節 加法定理 ・教材 新編数学Ⅱ STRIAL 数学Ⅱ+B	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	34
	定期考査			○	○		1
3 学 期	微分法と積分法 【知識及び技能】 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 関数とその導関数との関係について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。	・指導事項 第6章 微分法と積分法 第1節 微分法 第2節 積分法 ・教材 新編数学Ⅱ STRIAL 数学Ⅱ+B	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	34
	定期考査			○	○		1

科目 数学B

单位数： 2 单位

使用教科書：（新編 数学B(数研出版)

の目標・

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	等差数列と等比数列 【知識及び技能】 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や第n項を求める。 【思考・判断力・表現力等】 事象から離散的な変化を見出し、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。 【学びに向かう力・人間性等】 自然数の性質などを見出し、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他に証明方法と比較し多面的に考察すること。	・指導事項 第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 ・教材 新編数学B 3TRIAL 数学Ⅱ＋B	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	漸化式と数学的帰納法 【知識及び技能】 数学的帰納法について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 事象から離散的な変化を見出し、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。 【学びに向かう力・人間性等】 自然数の性質などを見出し、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他に証明方法と比較し多面的に考察すること。	・指導事項 第1章 数列 第3節 漸化式と数学的帰納法 ・教材 新編数学B 3TRIAL 数学Ⅱ＋B	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学期	確率分布 【知識及び技能】 標本調査の考え方について身に付けること。 【思考力・判断力・表現力等】 確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察する。 【学びに向かう力・人間性等】 目的に応じて、標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推察し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察すること。	・指導事項 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 ・教材 新編数学B 3TRIAL 数学Ⅱ＋B	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	統計的な推測 【知識及び技能】 標本調査の考え方について身に付けること。 【思考力・判断力・表現力等】 確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察する。 【学びに向かう力・人間性等】 目的に応じて、標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推察し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察すること。	・指導事項 第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測 ・教材 新編数学B 3TRIAL 数学Ⅱ＋B	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学期	【知識及び技能】 社会生活などにおける問題を、数学を活用して解決する意義について理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】 自らの事象や社会の事象において、数・量・形やそれらの関係に着目し、理想化したり単純化したりして、問題を数学的に表現すること。 【学びに向かう力・人間性等】 解決過程を振り返り、そこで用いた方法を一般化して、他の事象に活用すること。	・指導事項 第3章 数学と社会生活 ・教材 新編数学B 3TRIAL 数学Ⅱ＋B	【知識・技能】 ワークシート、ノート 【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、行動観察、提出物	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

使用教材： ベストステップ 数学Ⅰ・Ⅱ（中部日本教育文化会）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や法則などについて理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察・表現し、処理する方法を身につける。事象を数学的にとらえ、論理的に考え、よりよく問題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学的活動を通して、数学の論理や体系に関心をもち、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用する態度を育てる。

科目 数学演習Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析、図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や法則を理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。	関数関係に着目し、式・グラフを関連付けられる力、図形の計量について論理的に考察し表現する力、代表値や変量間の関係に着目し、分析を行い問題を解決する力、確率の性質に基づいて事象の起こりやすさを判断する力、事象を数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	数と式、式の計算 【知識及び技能】 展開・因数分解の公式の理解と利用。 【思考力、判断力、表現力等】 たすきがけを利用して因数分解する。置き換えによって、式の計算を簡略化できることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 多項式の整理の仕方に関心をもち、考察する。よりよい工夫の方法を考察する。	多項式の加法・減法・乗法 指数法則 因数分解	【知識・技能】 式に関する用語を理解している。 指数法則を理解している。展開・因数分解の公式が利用できる。 【思考・判断・表現】 たすきがけを利用した因数分解ができる。置き換えにより、式の計算を簡略化できることを理解できる。式の因数に着目して変形し、公式を適用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多項式の整理の仕方に関心をもち、考察しようとしている。式変形について、よりよい工夫の方法を考察しようとしている。	○	○	○	4
	数と式、実数、1次不等式 【知識及び技能】 絶対値を含む式の加法、減法、乗法、除法の計算を理解する。 不等式の意味、不等式の性質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 絶対値の意味から、絶対値を含む方程式・不等式を解く。 事象を1次不等式に帰着させる。 【学びに向かう力、人間性等】 不等式の解の意味について、考察する。具体的な事象に1次不等式が活用できることに関心をもち、考察する。	絶対値を含む式の計算 不等式の性質 1次不等式 絶対値を含む方程式・不等式	【知識・技能】 絶対値を含む式の計算ができる。不等式の性質を理解し、1次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 絶対値を含む方程式・不等式を解くことができる。事象を1次不等式の問題に帰着させ、問題解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 不等式の解の意味について考察し、具体的な事象に1次不等式が活用できることに関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	4
	2次方程式 【知識及び技能】 2次方程式の解法として、因数分解、解の公式を理解する。判別式の符号と実数解の個数の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を判別式の符号から考察することから考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 具体的な事象に2次方程式が活用できることに関心をもち、考察する。	2次方程式 2次関数のグラフとx軸の位置関係	【知識・技能】 2次方程式の解法として、因数分解、解の公式を理解している。判別式の符号と実数解の個数の関係を理解している。 【思考・判断・表現】 2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を判別式の符号から考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 具体的な事象に2次方程式が活用できることに関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	データの分析 【知識及び技能】 表、ヒストグラム、代表値について理解する。範囲や四分位範囲の定義や意味について理解する。分散、標準偏差について理解し、公式を用いて値を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 データの散らばりの度合いを数値化すること、代表値として適切な値について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 統計における代表値の意味について考察する。データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察する。	データの整理 代表値 データの散らばりと四分位分散、標準偏差	【知識・技能】 度分布表、ヒストグラム、代表値について理解している。範囲や四分位範囲の定義や意味について理解している。分散、標準偏差について理解し、公式を用いて値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 データの散らばりの度合いを数値化すること、代表値として適切な値について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 統計における代表値の意味について考察している。データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察しようとしている。	○	○	○	6
	集合の数 【知識及び技能】 総数、組合せの総数を計算する方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な組合せの数を見通しをもって計算する。 【学びに向かう力、人間性等】 総数、組合せの総数を計算する方法に興味をもつ。	集合の要素の個数 組合せの数	【知識・技能】 総数、組合せの総数を計算する方法を理解している。 【思考・判断・表現】 様々な組合せの数を見通しをもって計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 総数、組合せの総数を計算する方法に興味をもっている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2 学 期	確率 【知識及び技能】 確率の基本性質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 確率の考え方を様々な問題の解決に活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 確率の考え方の有用性に関心をもち、考察する。	事象と確率 確率の基本性質	【知識・技能】 確率の基本性質を理解している。 【思考・判断・表現】 確率の考え方を様々な問題の解決に活用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率の考え方の有用性に関心をもち、考察する。	○	○	○	3
	2次関数 2次関数の値の変化 2次不等式 【知識及び技能】 2次関数の最大値、最小値をもつことを理解し、標準形で表された2次関数の最大値、最小値を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 関数の値の変化をグラフから考察する。具体的な事象の最大・最小の問題を2次関数を用いて表現し、処理する。条件から求める2次関数の式の形を判断する。2次関数の値の符号と2次不等式の解の関係を考察し、2次不等式を解く。 【学びに向かう力、人間性等】 具体的な事象に2次関数の最大・最小の考え方が活用できることに関心をもち、考察する。	2次関数の最大・最小 2次不等式 2次関数の決定 2次関数のグラフとx軸の位置関係 2次不等式	【知識・技能】 2次関数が最大値、最小値をもつことを理解し、標準形で表された2次関数の最大値、最小値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 関数の値の変化をグラフから考察することができる。具体的な事象の最大・最小の問題を2次関数を用いて表現し、処理することができる。条件から求める2次関数の式の形を判断する。2次関数の値の符号と2次不等式の解の関係を考察し、2次不等式を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 具体的な事象に2次関数の最大・最小の考え方が活用できることに関心をもち、考察しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	辺角と許量 三角比 【知識及び技能】 直角三角形における三角比の定義を理解し、値を求める。直角三角形の辺の長さを三角比で表す式を理解する。三角比の相互関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 具体的な事象を三角比の問題としてとらえる。三角比の相互関係を利用して、他の三角比の値を求める。180° - θ などの公式を理解し、三角比の値からθを求める。 【学びに向かう力、人間性等】 三角比の考え方に関心をもち、考察する。具体的な事象に三角比の考え方を活用する。	三角比とその相互関係 三角比の拡張	【知識・技能】 直角三角形における三角比の定義を理解し、値を求めることができる。直角三角形の辺の長さを三角比で表す式を理解している。三角比の相互関係を理解している。 【思考・判断・表現】 具体的な事象を三角比の問題としてとらえることができる。三角比の相互関係を利用して、他の三角比の値を求めることができる。180° - θ などの公式を理解し、三角比の値からθを求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角比の考え方に関心をもち、考察しようとしている。具体的な事象に三角比の考え方を活用しようとしている。	○	○	○	7
	辺角と許量 三角比への応用 【知識及び技能】 正弦定理、余弦定理を利用して、三角形の辺や角の大きさ、外接円の半径の大きさを求める。三角比を用いた三角形の面積の公式を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 条件から利用する定理を判断し、三角形の辺や角の大きさを求める。正弦定理を比を表す式としてとらえ、三角形の角の大きさについて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 正弦定理、余弦定理の図形的意味を考察する。具体的な事象について、定理を活用する。	正弦定理、余弦定理 正弦定理・余弦定理の応用 三角形の面積	【知識・技能】 正弦定理、余弦定理を利用して、三角形の辺や角の大きさ、外接円の半径の大きさを求めることができる。三角比を用いた三角形の面積の公式を理解している。 【思考・判断・表現】 条件から利用する定理を判断し、三角形の辺や角の大きさを求めることができる。正弦定理を比を表す式としてとらえ、三角形の角の大きさについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 正弦定理、余弦定理の図形的意味を考察しようとしている。具体的な事象について、定理を活用しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

3 学 期	数学と人間の活動 【知識及び技能】 整数の性質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ユークリッドの互除法を用いて、最大公約数を求める。 整数の性質を活用して様々な問題を考察する。 【正統に論かう力、人間性等】	約数と倍数 素数と素因数分解 最大公約数・最小公倍数 整数の割り算 ユークリッドの互除法 1次不定方程式 素数法	数学と人間の活動 【知識・技能】 整数の性質を理解している。 【思考・判断・表現】 ユークリッドの互除法を理解し、利用することができる。 整数の性質を活用して様々な問題を考察している。 【正統に論かう力、人間性等】	○	○	○	12
	平面図形 【知識及び技能】 三角形や円に関する基本的な性質や定理を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 三角形や円の性質や定理を活用して様々な問題を考察する。 【正統に論かう力、人間性等】 平面図形がもつ幾何学的な美しさに興味をもつ。	三角形の辺の比 三角形の外心・内心・垂心 チェバの定理 メネラウスの定理 円に内接する四角形 円と直線 2つの円	平面図形 【知識・技能】 三角形や円に関する基本的な性質や定理を理解している。 【思考・判断・表現】 三角形や円の性質や定理を活用して様々な問題を考察している。 【正統に論かう力、人間性等】 平面図形がもつ幾何学的な美しさに興味をもっている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎
教 科： 理科 科 目： 物理基礎 単位数： 2 単位
対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 実教出版 高校物理基礎 ）

教科 理科 の目標：
【知 識 及 び 技 能】原理・法則の数式を利用し、現象を考える力を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】実験などを通して、原理・法則を理解する。
【学びに向かう力、人間性等】身近な事物・現象には基本的な概念や原理・法則があることに気が付く。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物体の運動とさまざまなエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けるとともに、観察、実験技能の基礎を身に付けている。	物体の運動とさまざまなエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動とさまざまなエネルギーについて関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1章 物体の運動 1節 運動の表し方 【知識及び技能】 変位、速度などの運動の表し方を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 速度を実験器具を使って測定し、量的な関係を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験を通じて、体感を伴って速度を理解させる。	・指導事項 速さとその表し方 等速直線運動 速さと速度・変位 速度の合成と相対速度 ・教材 教科書、ワークシート、PC	【知識・技能】 ・物体の速度を求めることができる。 ・合成速度や相対速度を求められる。 【思考・判断・表現】 ・速度を実験器具を使って測定できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実験を通じて、速度を調べようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	1章 物体の運動 1節 運動の表し方 【知識及び技能】 等加速度運動の「時間と変位」「時間と速度」の関係を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 運動の基礎となる量を理解し、運動を物理学的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験を通じて、体感を伴って加速度運動を理解させる。	・指導事項 加速度 等加速度直線運動 自由落下運動 ・教材 教科書、ワークシート、PC	【知識・技能】 ・等加速度運動の式を用いて、時間・変位・速度をそれぞれ求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・加速度を実験器具を使って測定し、運動の量的な関係をとらえることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実験を通じて、物体の加速度を調べようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	1章 物体の運動 2節 力と運動の法則 【知識及び技能】 力と加速度の関係を理解し、運動の法則を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 運動の法則に基づき、様々な運動を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験を通じて、体感を伴って力を理解させる。	・指導事項 力 力のつりあい 作用反作用 慣性の法則 運動の法則と運動方程式 ・教材 教科書、ワークシート、PC	【知識・技能】 ・釣合いと作用反作用の力を判別できる。 ・実験結果から運動方程式を導ける。 【思考・判断・表現】 ・運動の法則に基づき、さまざまな運動の規則性を見つけることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・力がつりあう条件や、力と加速度、質量と加速度の関係を調べようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	2章 エネルギー 1節 運動とエネルギー 【知識及び技能】 エネルギーと仕事の基礎概念を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 エネルギーという捉え方で、物体の運動や現象を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験を通じて、体感を伴ってエネルギーを理解させる。	・指導事項 仕事 仕事の性質と仕事率 運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギー保存則 ・教材 教科書、ワークシート、PC	【知識・技能】 ・仕事やエネルギーを理解し、物理現象をエネルギーの観点から求められる。 【思考・判断・表現】 ・運動についての事象に共通するエネルギーというとらえ方を理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実験を通じて、力学的エネルギーなどの新たな量的関係を類推しようとする。	○	○	○	7
	2章 エネルギー 2節 熱とエネルギー 【知識及び技能】 巨視的に見た熱の正体、微視的に見た熱の正体を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 熱現象について、仕事・熱・エネルギーの関係を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験を通じて、体感を伴って熱を理解させる。	・指導事項 熱と温度 温度変化に必要な熱量 熱の移動と比熱の測定 熱と仕事 ・教材 教科書、ワークシート、PC	【知識・技能】 ・エネルギーの保存と、熱と仕事の変換、熱的現象の不可逆性などを理解できる。 【思考・判断・表現】 ・熱現象について、仕事・熱・エネルギーの関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実験を通じて、熱量の保存を調べようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	3章 波 1節 波の性質 2節 音と振動 【知識及び技能】 波が、媒質の振動が伝わる現象であることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な波動現象を、重ねあわせの原理を用いて考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験を通じて、体感を伴って波を理解させる。	・指導事項 波の性質 横波と縦波 重ねあわせの原理と定在波 音の伝わり方 弦の振動と気柱の振動 ・教材 教科書、ワークシート、PC	【知識・技能】 ・波動現象を物理量で表現できる。 ・共鳴共振を波動現象として説明できる。 【思考・判断・表現】 ・重ねあわせの原理を用いて説明がつくさまざまな現象を、区別して理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な波の現象について、振動が伝わる量的な関係を理解しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
							合計 70

使用教科書：（ 実教出版 高校生物基礎 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物に関する理解を深めるとともに、現象を考える力を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】理科の見方・考え方をはたらかせ、科学的に探究する能力と態度を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に対する関心を高め、科学的な自然観を育成する。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象に関する観察、実験などを通して、基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するための基本的な技能が身についている。	生物や生物現象に関する基本的な実験や探究の方法を習得している。また、報告書を作成したり、発表するなどして、科学的に探究する力が育まれている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が養われている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 【知識及び技能】 生物は多様でありながら、共通性があることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 細胞が生物の基本構造であることを、生物学的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験を通じて、生物の共通性を理解させる。	・指導事項 多様性・共通性とその由来 細胞 ・教材 教科書、ワークシート、PC	【知識・技能】 ・生物の多様性と共通性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・細胞が生物の基本構造であることを、生物学的な視点から考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実験を通じて、生物の共通性を理解しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	1章 生物の特徴 2節 生物とエネルギー 【知識及び技能】 生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連付けて考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料に基づいて、生命活動におけるエネルギーの必要性を理解させる。	・指導事項 生命活動とエネルギーの獲得 酵素と代謝 光合成と呼吸 ・教材 教科書、ワークシート、PC	【知識・技能】 ・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連付けて考察し、それを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとしている。	○	○	○	6
	2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA 【知識及び技能】 ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 DNAの性質や構造を科学的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 DNAの研究史を通じて、DNAの性質や構造を理解させる。	・指導事項 遺伝子の本体 DNAの構造 DNAの複製と分配 ・教材 教科書、ワークシート、PC	【知識・技能】 ・ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・DNAの性質や構造を科学的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとしている。	○	○	○	7
2 学 期	定期考査			○	○	○	1
	2章 遺伝子とその働き 2節 遺伝情報とタンパク質の合成 【知識及び技能】 DNAが転写・翻訳されてタンパク質になることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成される過程を表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 遺伝子研究やバイオテクノロジーなどの応用例に興味をもたせる。	・指導事項 遺伝子とタンパク質 タンパク質の合成 遺伝子の発現 ゲノムと遺伝子 ・教材 教科書、ワークシート、PC	【知識・技能】 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとしている。	○	○	○	7
	3章 ヒトの体の調節 1節 体内環境 【知識及び技能】 一定の範囲内に体内環境が保たれていることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 体内環境の維持に関するホルモンや自律神経のはたらきを見出させる。 【学びに向かう力、人間性等】 肝臓や腎臓の機能を例に、人体についての興味をもたせる。	・指導事項 体内環境と恒常性 体液とその働き 体液の調整 ・教材 教科書、ワークシート、PC	【知識・技能】 ・体内環境が一定の範囲に保たれることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・体液の塩分濃度調節や血糖量、体温の調節が、ホルモンや自律神経により調節されていることを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・肝臓や腎臓の機能を理解し、人体についての理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	3章 ヒトの体の調節 2節 体内環境の維持のしくみ 【知識及び技能】 血糖量や体温の調節が、自律神経とホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 体内環境の維持に関するホルモンや自律神経のはたらきを見出させる。 【学びに向かう力、人間性等】 調節の機構や、調節ができない疾患などについて興味をもたせる。	・指導事項 情報の伝達 自律神経系による情報伝達と調節 内分泌系による情報伝達と調整 内分泌系と自律神経系による調節 ・教材 教科書、ワークシート、PC	【知識・技能】 ・ホルモンの分泌により血糖値が保たれることを理解しており、ホルモンの分泌不足により発症する疾患についての知識を得ている。 【思考・判断・表現】 ・体液の塩分濃度調節や血糖量、体温の調節が、ホルモンや自律神経により調節されていることを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ホルモンの分泌により血糖値が保たれており、ホルモンの分泌不足により発症する疾患について調べようとする。	○	○	○	7
3 学 期	3章 ヒトのからだの調節 3節 免疫 【知識及び技能】 免疫に関わる細胞を知り、体液性免疫や細胞性免疫を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察・表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 免疫について、身近な現象と絡めて理解させる。	・指導事項 生体防御と免疫 自然免疫のしくみ 獲得免疫のしくみ 免疫と疾患 ・教材 教科書、ワークシート、PC	【知識・技能】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解している。 【思考・判断・表現】 ・病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・免疫について、身近な現象と絡めて理解しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	4章 生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 陸上には様々な植生がみられ、植物を取り巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 植生が影響を受ける要因について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 生態系の保全に寄与する意識を養う。	・指導事項 植生と遷移 植生とバイオーム 生態系と生物の多様性 生態系のバランスと保全 ・教材 教科書、ワークシート、PC	【知識・技能】 ・陸上には様々な植生がみられ、植物を取り巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解している。 【思考・判断・表現】 ・植生が、光環境や植物の光に対する特性、土壌の発達段階に影響を受けることを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生態系のバランスや、生態系を保全することが重要であることを理解しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
							合計 70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 理科 科目 化学
教 科： 理科 科 目： 化学 単位数： 2 単位
対象学年組： 第 2 学年 選択

教科 理科 の目標：

【思考力、判断力、表現力等】 理科の見方・考え方をはたらかせ、科学的に探究する能力と態度を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に対する関心を高め、科学的な自然観を育成する。

科目 化学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
定期考査において各単元の知識、理解度から判断する。	定期考査において各単元の思考力から判断する。	実験、実習において積極性、正確性、協調性から判断する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	原子の構造 【知識及び技能】 原子の構造を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 電子配置と性質の関係を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 静電気の実験から原子の構造を想像できる。	・原子の構造 ・原子番号と質量数 ・電子配置	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	13
	定期考查			○	○		1
	化学結合 【知識及び技能】 イオンの種類を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 イオンが形成される仕組みを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験において結合の種類を見分けることができる。	・イオン ・イオンの形成 ・イオン結合、共有結合	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	13
	定期考查			○	○		1
2 学期	物質の変化 【知識及び技能】 分子量を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 物質量を考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験においてアボガドロ数を求めることができる。	・原子量 ・物質量 ・アボガドロ数	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	13
	定期考查			○	○		1
	濃度 【知識及び技能】 濃度の表し方を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 濃度をモル数で表せる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験において溶液の濃度を色々な方法で表せる。	・質量%濃度 ・モル濃度 ・メスフラスコの使用法	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	13
	定期考查			○	○		1
3 学期	化学反応の表し方 【知識及び技能】 化学反応式を書ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応式の意味を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験において起こった化学反応を化学反応式に書ける。	・化学反応式 ・化学反応式の量的関係 ・未定係数法	【知識・技能】 考查 【思考・判断・表現】 考查 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	13
	定期考查						1
							合計
							70

高等学校 令和 6 年度（2 学年用）教科
保健体育
科目
体育

教 科： 保健体育
 科 目： 体育
 単位数： 2 単 位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科 保健体育 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】体力を高める

【思考力、判断力、表現力等】技能の段階に応じて、課題解決のための目標を設定し、練習を工夫できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】仲間と協力し、様々な種目に積極的に取り組む。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・運動の主体的、合理的、計画的な実践に関する具体的な事項やスポーツの推進及び発展に寄与するための事項について理解している。 ・生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身につけている。	・学習する運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整をしている。	・体育の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。 ・フェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。

[illegible]

高等学校 令和6年度（2学年用）		教科	芸術	科目	音楽Ⅱ
教科：芸術	科目：音楽Ⅱ		単位数：	単位	2
対象学年組：第 2 学年	1 組～ 6 組				

教科 芸術 の目標：

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解し表現し生かす	音色・リズム・速度・教材・形成を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように歌うかについて表現意図を持ち表現する	曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み音楽を愛好する心情を育て生かす

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・強弱を知覚する。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱の学習活に取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○		○	曲に相応しい発声、言葉の発音、体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身につける。 学習記録とワークシート	○	○	○		8
	A 単元 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・強弱を知覚する。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱の学習活に取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○		○	曲について調べたり意見を交換したりして曲想と音楽の構造や歌詞をイメージをもって試行錯誤しながら表現を工夫する。 学習記録とワークシート	○	○	○		8
	A 単元 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・強弱を知覚する。 【学びに向かう力、人間性等】 指揮者になってみる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○		○ ○	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きに注目しながら鑑賞し、指揮者になる。 歌のテスト 学習記録とワークシート	○	○	○		8
	A 単元 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞。 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・強弱を知覚する。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱の学習活に取り組む	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○		○ ○	1学期の総括で個別実技テストを行う	○	○	○		4
2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 曲想とギターの関わり 【思考力、判断力、表現力等】 曲に相応しい奏法、体の使い方 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ギター ・ドラムスティック	○	○		曲に相応しい奏法、体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身につける。 。学習記録とワークシート ギター練習記録	○	○	○		12
	A 単元 【知識及び技能】 曲想とギターの関わり 【思考力、判断力、表現力等】 曲に相応しい奏法、体の使い方 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ギター ・ドラムスティック	○	○		曲に相応しい奏法、体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身につける。 。学習記録とワークシート ギター練習記録とギターテスト	○	○	○		12
3 学 期	A 単元 【知識及び技能】 曲想音楽の構造や歌詞との関わり 【思考力、判断力、表現力等】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ドラムスティック	○	○	○	物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解し、曲に相応しい表現を工夫して歌う。 学習記録とワークシート	○	○	○		12
	A 単元 【知識及び技能】 曲想音楽の構造や歌詞との関わり 【思考力、判断力、表現力等】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景 【学びに向かう力、人間性等】 イメージをもって表現の工夫	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・ドラムスティック	○	○	○	物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解し、曲に相応しい表現を工夫して歌う。 学習記録とワークシート 歌のテスト	○	○	○		6 合計 70

高等学校 令和6年度（2学年用）		教科	芸術	科目	美術Ⅱ
教科：芸術	科目：美術Ⅱ		単位数：	単位	2
対象学年組：第 2 学年	1 組～ 6 組				

教科 芸術	の目標：
【知 識 及 び 技 能】	色彩の世界の豊かさを知り、自分に色彩の世界を広げる。
【思考力、判断力、表現力等】	着彩表現を通して、描きこむことを学び、着彩技術を身に着ける。
【学びに向かう力、人間性等】	主体的に制作活動に取り組み、生涯にわたり、美術を愛好する心情を育む。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

[illegible]

高等学校 令和6年度（2学年用）教科 芸術 科目 書道Ⅱ
 教科：芸術 科目：書道Ⅱ 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 1組～6組

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】古典の特徴を理解し臨書することができる

【思考力、判断力、表現力等】文字の結構の特徴を理解し、自己表現できる

【学びに向かう力、人間性等】課題に真摯に取り組み、上達を志す姿勢を養うことを目標とする

科目 書道Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
文字を正確に、読みやすく整えて書くことを目標とする	文字の結構の特徴を理解し、美しく書くことを目標とする	課題に真摯に取り組み、上達を志す姿勢を養うことを目標とする

[illegible]

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ
教 科： 外国語 科 目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 4 単位
対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ All Aboard! English Communication II（東京書籍） / クラッシュコース英作文（三省堂））

教科 外国語 の目標：
【知 識 及 び 技 能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、適切に表現することができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的にコミュニケーションをとろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
●言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につける。	●コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する能力を身につける。	●授業等において言語活動を通して実際にコミュニケーションを図るだけでなく、それを通して自分に足りない力や、学習方法などを自ら考え、授業での言語活動を充実させるための努力を続ける姿勢を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	Lesson 1 ●関係代名詞whatを用いた文の形・意味を理解させる。【知識及び技能】 ●海外の観光地について学んだり、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことを話し合わせる。【思考力、判断力、表現力等】 ●本文や、海外で行ってみたい場所についてのスピーチや対話の概要を捉えようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	●A Colorful Island ●関係代名詞what ●タブレットを用いて動画や画像を取り入れた指導 ●Forms等を用いた確認テストの実施	○	○	○		○	●本文について理解している。 ●Target Grammarについて理解している。 ●Target Grammarを用いた文章を作成することができる。 ●授業を通して、自らの考えや意見を適切に伝えることができる。	○	○	○	13
	Lesson 2 ●比較表現 (more) (the most) を用いた文の形・意味を理解させる。【知識及び技能】 ●好きな音楽バンドについて自分で調べた事柄を用いて、理由などを話し合わせる。【思考力、判断力、表現力等】 ●本文や世代を超えて人気のある音楽バンドや、好きな人物について話されるスピーチや対話の概要を捉えようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	●With the Beatles ●比較表現 (more) (the most) ●タブレットを用いて動画や画像を取り入れた指導 ●Forms等を用いた確認テストの実施		○	○		○	●本文について理解している。 ●Target Grammarについて理解している。 ●Target Grammarを用いた文章を作成することができる。 ●授業を通して、自らの考えや意見を適切に伝えることができる。	○	○	○	13
	定期考査	●Lesson 1 - Lesson 2		○			○	●授業内容を理解し、予習・復習の成果を発揮することができる。	○	○		1
	Lesson 3 ●itを用いた文 (It is ... (for →) to ~) (It is ... that ~) の形・意味を理解させる。【知識及び技能】 ●身近な行事について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話し合わせる。【思考力、判断力、表現力等】 ●ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についての概要を捉えようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	●Wild Men ●itを用いた文 (It is ... (for →) to ~) (It is ... that ~) ●タブレットを用いて動画や画像を取り入れた指導 ●Forms等を用いた確認テストの実施	○	○	○		○	●本文について理解している。 ●Target Grammarについて理解している。 ●Target Grammarを用いた文章を作成することができる。 ●授業を通して、自らの考えや意見を適切に伝えることができる。	○	○	○	13
	Lesson 4 ●間接疑問文の形・意味を理解させる。【知識及び技能】 ●ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学んで物語の結末を想像したり、考えを話し合わせる。【思考力、判断力、表現力等】 ●ハチドリを紹介する記事とハチドリを主人公にした物語の概要を捉えようとしている。【学びに向かう力、人間性等】	●Little Hero ●間接疑問文 ●タブレットを用いて動画や画像を取り入れた指導 ●Forms等を用いた確認テストの実施		○	○	○	○	●本文について理解している。 ●Target Grammarについて理解している。 ●Target Grammarを用いた文章を作成することができる。 ●授業を通して、自らの考えや意見を適切に伝えることができる。	○	○	○	13
	定期考査	●Lesson 3 - Lesson 4		○			○	●授業内容を理解し、予習・復習の成果を発揮することができる。	○	○		1

[illegible]

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 家庭科 科目 家庭基礎

教科： 家庭科 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（《実教出版》 図説 家庭基礎 ）

教科 家庭科 の目標：

【知識及び技能】生活の自立のための衣食住や消費生活、家族や家庭生活などの基礎的な知識・技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】生活の中の課題の解決策を構想し、実践を評価・改善するなどして課題を解決する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、社会との関わりについて理解を深め、生活を営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費などについて理解し、基本的な技能を身につける。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践する態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元：＜自分らしい生き方と家族＞ 【知識及び技能】 各ライフステージの発達課題、家族や家庭生活に関する基本的知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 家族や家庭生活について、自分の現在・将来と結びつけながら考え、課題の解決に向けて思考・判断し、表現することができる。 学んだ知識から生活に結びつけて思考することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 家族や家庭生活について、関心を持って知ろうとする態度があり、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出すことができる。	オリエンテーション 第1章 自分らしい生き方と家族 1. 生涯発達する人生、青年期を生きる 2. 男女共同参画社会をめざして 3. 現代の家族、社会環境の変化や課題 4. 家族に関する法律 教材：プリント、資料集	【知識・技能】 ・各ライフステージの発達課題を理解している。 ・家族や家庭生活に関する基本的知識を理解している。 （提出物、定期考査） 【思考・判断・表現】 ・家族や家庭生活の課題について、その解決策を思考し、自分の意見を論理的に述べるができる。 ・学んだ知識から生活に結びつけて適切に思考することができる。 （提出物、定期考査） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家族や家庭生活について、関心を持って意欲的に授業に参加している。課題の解決に向けて解決策を見出そうとし、意見を表現することができる。 ・提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 （授業への取り組み、提出物）	○	○	○	12
	単元：＜子どもとかわる＞ 【知識及び技能】 子どもの成長に関する基本的知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの発達や子どもとの関わりについて、自分の現在・将来と結びつけながら考え、課題の解決に向けて思考・判断し、表現することができる。 学んだ知識から生活に結びつけて思考することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの発達や子どもとの関わりについて、関心を持って知ろうとする態度があり、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出すことができる。	第2章 子どもとかわる 1. 子どもの誕生、子どもの発達 2. 子どもの生活習慣 3. 子どもの衣生活・食生活 4. 子どもの遊び 5. 親になることを考えよう 教材：プリント、資料集	【知識・技能】 ・子どもの成長に関する基本的知識を理解している。 （提出物、定期考査） 【思考・判断・表現】 ・子どもとの関わり方、子育て環境の課題などについて考え、より良い課題の解決に向けて思考・判断し、表現することができる。 ・学んだ知識から生活に結びつけて思考することができる。 （提出物、定期考査） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どもの発達や子どもとの関わりについて、関心を持って授業に取り組む、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出そうとしている。 ・提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 （授業への取り組み、提出物）	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2	単元：＜衣生活をつくる＞ 【知識及び技能】 衣生活に関する基本的知識を理解し、ミシンを使った基本的な縫い方の技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 衣生活に関する問題点を考え、自分の行動を見直したり、改善策を見出すことができる。 学んだ知識から日常の生活に結びつけて思考することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 衣生活に関心を持って知識を学ぼうとする態度があり、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出すことができる。実習に意欲的に取り組むことができ、期限を守って提出することができる。	第6章 衣生活をつくる 1. 人と衣服のかかわり、快適な衣服 2. 衣服素材の種類と特徴、性能 3. 衣服の選択、管理 4. 実習（エコバッグ製作） 教材：プリント、資料集、エコバッグ製作教材	【知識・技能】 ・衣生活に関する基本的知識を理解している。 ・ミシンの基本的技術が身についている。 （提出物、定期考査） 【思考・判断・表現】 ・衣生活に関する問題点に気づき、自分の生活に結びつけて改善策を思考・判断し、表現することができる。 ・学んだ知識から身の回りの生活に結びつけて思考することができる。 （提出物、定期考査） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・衣生活について、関心を持って知ろうとする態度があり、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出そうとしている。 ・実習に意欲的に取り組み、期限を守って作品を提出している。 ・その他提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 （授業への取り組み、提出物）	○	○	○	12
	単元：＜食生活をつくる＞ 【知識及び技能】 食生活に関する基本的知識や技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 食生活に関する課題を見出し、自分の行動を見直したり、社会の改善策を考え、自分の意見を表現することができる。 学んだ知識から日常の生活に結びつけて思考することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 食生活に関心を持って知識を学ぼうとする態度があり、授業に意欲的に取り組むことができる。	第5章 食生活をつくる 1. 食生活と健康 2. 五大栄養素 3. 食品の選択と表示、食品の衛生 4. 食事摂取基準、食品群別摂取量のめやす 5. 調理の基本 教材：プリント、資料集	【知識・技能】 ・食生活に関する基本的知識を理解し、基本的技術を身につけている。 （提出物、定期考査） 【思考・判断・表現】 ・食生活に関する課題を見出し、自分の行動を見直したり、社会の改善策を思考・判断し、表現することができる。 ・学んだ知識から身の回りの食生活に結びつけて思考することができる。 （提出物、定期考査） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食生活について、関心を持って知ろうとする態度があり、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出そうとしている。 ・提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 （授業への取り組み、提出物）	○	○	○	10

2 学 期	単元：＜高齢者とかかわる＞ 【知識及び技能】 高齢社会の現状や高齢者の生活について基本的知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢社会の課題を見出し、改善策について考えたり、自身や家族のことと結びつけて考え、自分の意見を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢社会に関心を持って知識を学ぼうとする態度があり、授業に意欲的に取り組むことができる。	第3章 高齢者とかかわる 1. 高齢社会に生きる 2. 高齢者を知る、介護の心 教材：資料集	【知識・技能】 ・高齢者や高齢社会に関する基本的知識を理解している。 (提出物、定期考査) 【思考・判断・表現】 ・高齢社会に関する課題を見出し、社会の改善策を思考・判断し、自分の意見を表現することができる。 ・学んだ知識から身の回りの食生活に結びつけて思考することができている。 (提出物、定期考査) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・高齢社会について、関心を持って知ろうとする態度があり、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出そうとしている。 ・提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 (授業への取り組み、提出物)	○	○	○	2
	単元：＜社会とかかわる＞ 【知識及び技能】 社会福祉や社会保障制度について基本的知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ知識から日常の生活に結びつけて思考、判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会福祉に関心を持って知識を学ぼうとする態度があり、授業に意欲的に取り組むことができる。	第4章 社会とかかわる 1. 共に生きるために 2. 社会保障制度 教材：資料集	【知識・技能】 ・社会福祉や社会保障制度高齢者や高齢社会に関する基本的知識を理解している。 (提出物、定期考査) 【思考・判断・表現】 ・ともに生きるために必要なことは何か、自分に行き届くことは何かを考え、導き出すことができる。 ・学んだ知識から身の回りの生活に結びつけて思考、判断、行動することができる。 (提出物、定期考査) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・社会とかかわることについて、関心を持って学ぼうとする態度があり、課題を発見し、その解決に向けて解決策を見出そうとしている。 ・提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 (授業への取り組み、提出物)	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元：＜住生活をつくる＞ 【知識及び技能】 住生活に関する基本的知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ知識から日常の生活に結びつけて思考することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 住生活に関心を持って知識を学ぼうとする態度があり、授業に意欲的に取り組み、期限を守って提出物を提出することができる。	第7章 住生活をつくる 1. 住空間（平面計画） 2. 健康に配慮した住まい 3. 安全な住まい 教材：プリント、資料集	【知識・技能】 ・住生活に関する基本的知識を理解している。 (提出物、定期考査) 【思考・判断・表現】 ・住生活について学んだ知識から身の回りの生活に結びつけて思考することができる。 (提出物、定期考査) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・住生活について、関心を持って学ぼうとする態度があり、課題に意欲的に取り組むことができる。 ・提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 (授業への取り組み、提出物)	○	○	○	6
	単元：＜経済的に自立する＞ ＜消費行動を考える＞ 【知識及び技能】 経済生活や消費生活に関する基本的知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ知識から日常の生活に結びつけて思考、判断し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 経済生活や消費生活に関心を持って知識を学ぼうとする態度があり、授業に意欲的に取り組み、期限を守って提出物を提出することができる。	第8章 経済的に自立する 第9章 消費行動を考える 1. 収入・支出を把握する 2. 長期的な経済計画 3. 契約と主体的な行動 4. 販売方法と問題商法 5. 消費者を守る制度・法律 6. 支払い方法 7. 消費者の権利と責任 8. 持続可能な社会の構築 教材：プリント、資料集	【知識・技能】 ・経済生活、消費生活に関する基本的知識を理解している。 (提出物、定期考査) 【思考・判断・表現】 ・学んだ知識から日常生活に結びつけて思考し、適切な判断をすることができる。 (提出物、定期考査) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・経済生活、消費生活について、関心を持って学ぼうとする態度があり、課題に意欲的に取り組むことができる。 ・提出物の提出期限を守り、その内容が充実している。 (授業への取り組み、提出物)	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
						合計	70

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
SDGsや自己の進路に対して、知識として理解したか。	SDGsや自己の進路に対して、きちんと考え、文章でまとめて発表したか。	積極的に授業に参加し、理解しようとしているか。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	進路学習 自己の進路について考える。	入試形態・入試科目について調べる。 進路ガイダンス（大学説明会）	【知識・技能】 SDGsや自己の進路に対して、知識として理解したか。 【思考・判断・表現】 SDGsや自己の進路に対して、きちんと考え、文章でまとめて発表したか。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に授業に参加し、理解しようとしているか。 【方法】 70％・・・出席状況 30％・・・①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参加等、授業中の態度	○	○	○	5
	進路学習 志望理由書を作成する。	進路脂肪理由書を作成する。 ワークシートを活用して、自己分析をする。	【知識・技能】 SDGsや自己の進路に対して、知識として理解したか。 【思考・判断・表現】 SDGsや自己の進路に対して、きちんと考え、文章でまとめて発表したか。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に授業に参加し、理解しようとしているか。 【方法】 70％・・・出席状況 30％・・・①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参加等、授業中の態度	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	
	D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	
	定期考査			○	○		
2 学 期	社会問題解決学習 社会の問題を考え、問題解決方法を考える。	テレ東BIZ マイナビの動画資料 社会の問題をみつけ、問題解決方法をグループワークで話し合う。	【知識・技能】 SDGsや自己の進路に対して、知識として理解したか。 【思考・判断・表現】 SDGsや自己の進路に対して、きちんと考え、文章でまとめて発表したか。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に授業に参加し、理解しようとしているか。 【方法】 70％・・・出席状況 30％・・・①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参加等、授業中の態度70％・・・出席状況 30％・・・①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参加等、授業中の態度	○	○	○	7
	社会問題解決学習 社会問題について解決方法を考えレポートを提出する。	テレ東BIZ マイナビの動画資料 自己の考えや、グループの考えをまとめレポートを提出する。	【知識・技能】 SDGsや自己の進路に対して、知識として理解したか。 【思考・判断・表現】 SDGsや自己の進路に対して、きちんと考え、文章でまとめて発表したか。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に授業に参加し、理解しようとしているか。 【方法】 70％・・・出席状況 30％・・・①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参加等、授業中の態度70％・・・出席状況 30％・・・①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参加等、授業中の態度	○	○	○	7

3 学 期	SDGsga学習 SDGsについて考える。	・SDGsについて、17の目標を知る。 ・17の目標の中から、自身が探究したいテーマを選び、グループを作って調べる。	【知識・技能】 SDGsや自己の進路に対して、知識として理解したか。 【思考・判断・表現】 SDGsや自己の進路に対して、きちんと考え、文章でまとめて発表したか。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に授業に参加し、理解しようとしているか。 【方法】 70%・・・出席状況 30%・・・①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参加等、授業中の態度70%・・・出席状況 30%・・・①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参加等、授業中の態度	○	○	○	5
	SDGsga学習 SDGsについて考える。	・グループで調べた内容を発表する。	【知識・技能】 SDGsや自己の進路に対して、知識として理解したか。 【思考・判断・表現】 SDGsや自己の進路に対して、きちんと考え、文章でまとめて発表したか。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に授業に参加し、理解しようとしているか。 【方法】 70%・・・出席状況 30%・・・①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参加等、授業中の態度70%・・・出席状況 30%・・・①課題やノートの提出状況 ②グループ学習やペアワークへの参加等、授業中の態度	○	○	○	5
							合計
							35